

卒業研究論文の装丁について（平成 18 年度版）

情報工学科卒研委員

卒業研究論文の装丁は下記による。

1. 支給される材料

- a) 綴じ込みファイル用表紙
- b) タックラベル→各自、印字後に次のサイズに（ラベル台紙の 5mm 方眼を参考にして）カットして使用する。

ラベルA：サイズ 横 150mm×縦 110mm

ラベルB：サイズ 幅 15mm×長さ 300mm

2. ラベル上の記載事項

- a) ラベルAは表紙に貼付するもので、横位置とし、図1に例示するように「平成○年度卒業論文」の文字（1行）、標題（1～2行）、学籍番号と氏名（1行）を記す。

各行は中心を合わせ左右のバランスの取れるように文字を配すること。

標題の字体はゴシック体太字で文字の大きさは 22 ポイントを基本とするが、標題の文字数が多いときには適宜小さい字を用いてもよい。総じて文字の配置・大きさ・バランス等は美的にも配慮を怠らないこと。

- b) ラベルBはファイルの背に貼付するもので、図2に例示するように、「平成○年度卒業論文」の文字、標題、学籍番号及び氏名を印字した後に、幅 15mm、長さ 300mm の寸法にカットする。

文字の向き（縦書きか横書きか）は同一ラベル内では統一すること。標題が日本語のみから成るときは、縦書きを原則とする。標題が欧文のとき又は欧文表記を含むときは、おもて表紙を上にし、ファイルの天を左側にして横書きとすること。

- c) 1 論文が複数冊に亘るときには、ラベルA及びBの標題の末尾に分冊番号を「(n/m)」(全 m 冊中の n 冊) のように記すこと。

3. ラベルの貼り方

- a) ラベルAはファイルのおもて表紙に中心を揃えて図3に示すように貼ること。
- b) ラベルBはファイルの背に図2及び図3に示すように貼ること。

4. 使用ファイルの例外

分冊（但し本文以外を収めたものに限る）の中に支給されたファイル用表紙を使用しがたい事情があるときは、適宜別の規格のファイル用表紙を使用しても差し支えない。その場合、そのファイルにも上記に準じたラベルを貼付すること。また、その分冊番号（n）はなるべくあとにまわす（mに近くする）こと。

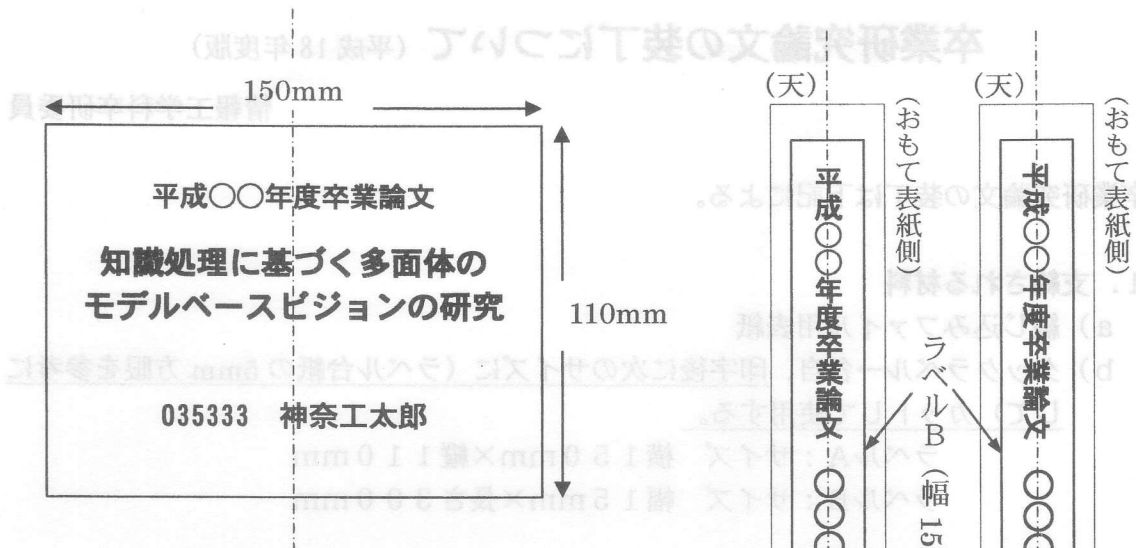


図1 ラベルAの記載の仕方例

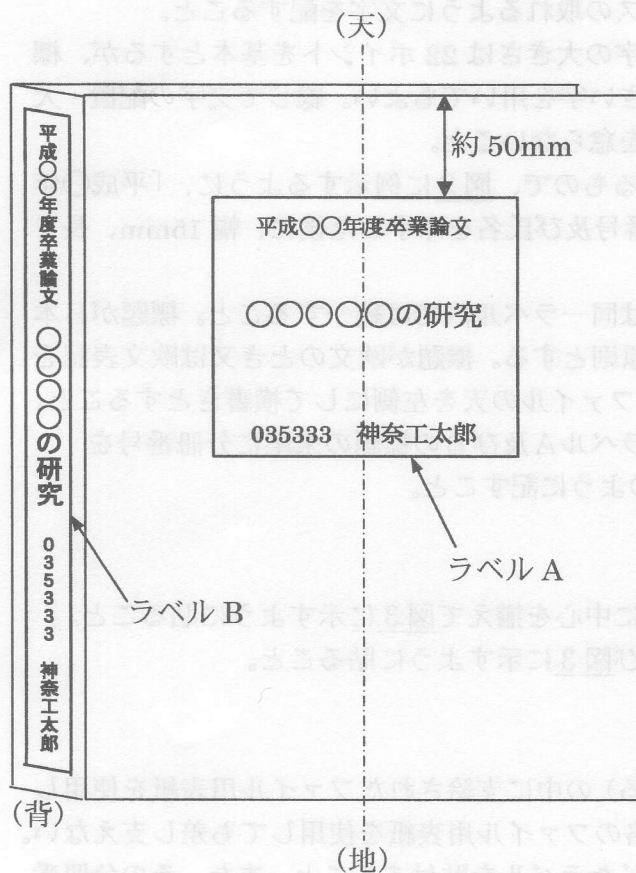
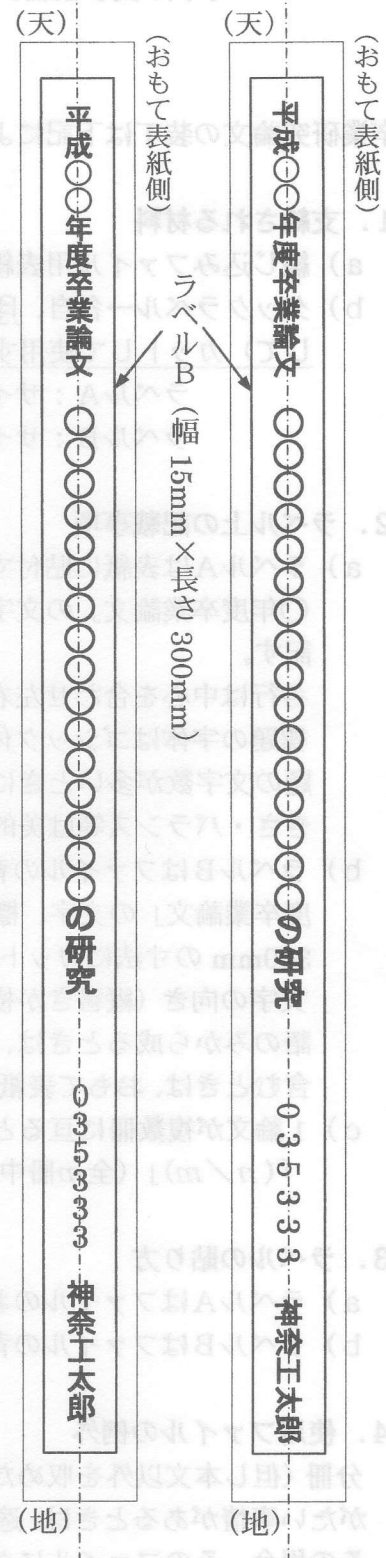


図3 ラベルの貼り方

図2 ラベルBの記載の仕方と
文字の方向